

## 第2章 個別調査の概要\_\_水質\_\_出水時調査

### 1 調査内容

#### (1) 調査の目的

ダム撤去工事中及び撤去後において、貯水池内及びダム下流の水質の状況を把握する。

#### (2) 調査日

平成22年6月29日～30日

#### (3) 調査地点

以下の3地点とした。

- ①瀬戸石ダム下流
- ②道の駅坂本
- ③坂本橋

### 2 調査結果

(1) 降雨は、29日の午前中に神瀬で3時間雨量62mm(8～11時)を記録した。流量は、荒瀬ダムで16時に3,000m<sup>3</sup>/secを超えた。

(2) 濁度、SSは、各地点ともに流量の推移に伴い変化した。これらのピークは、流量のピークよりやや遅れて出現した。DOは、各地点ともに約11mg/L前後で推移し、流量増加に伴い曝気状態で流下した。

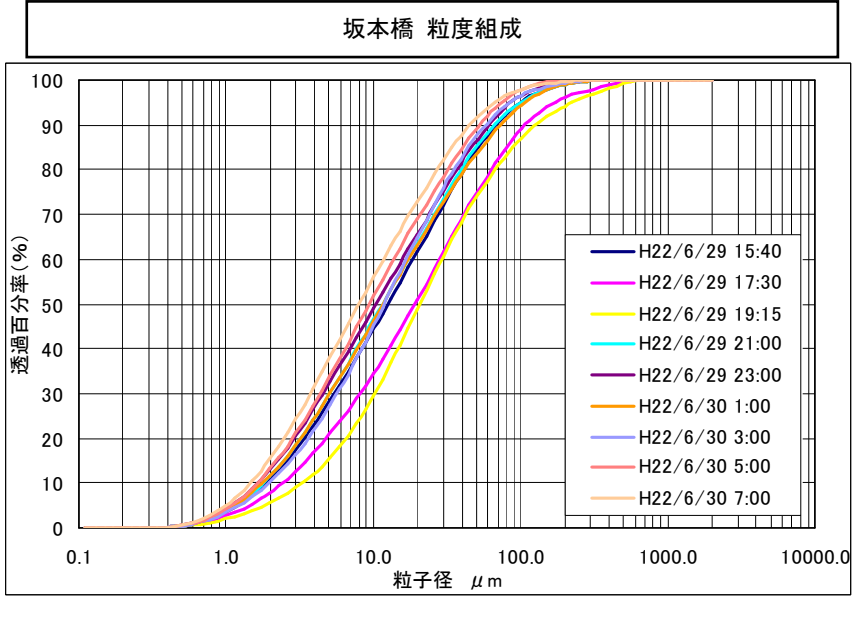
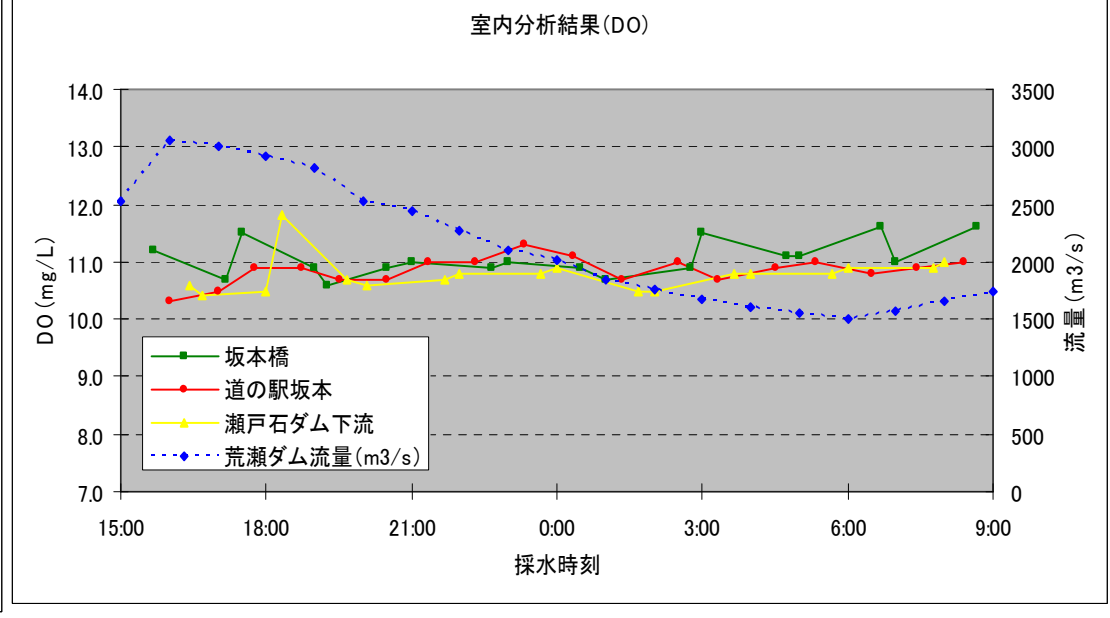
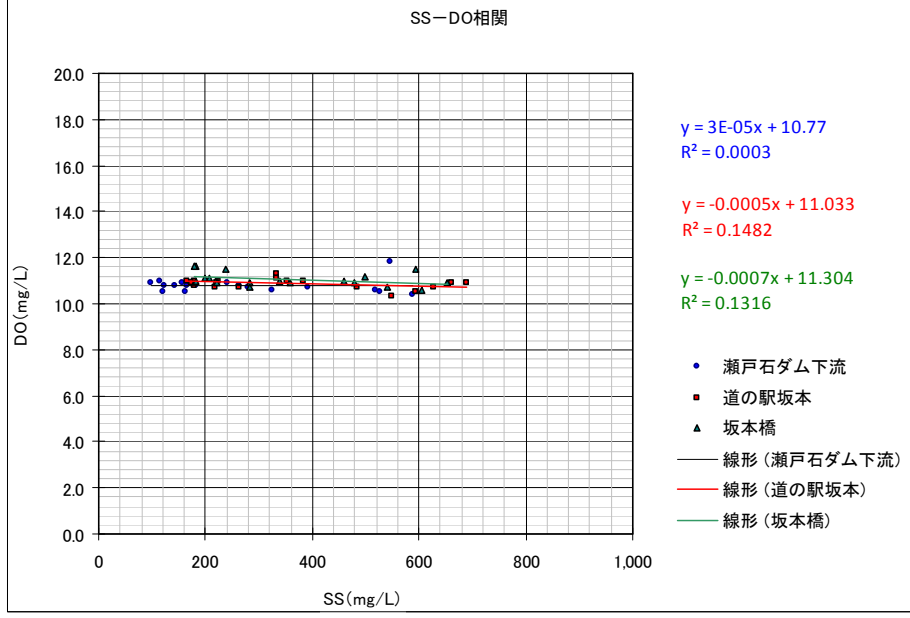
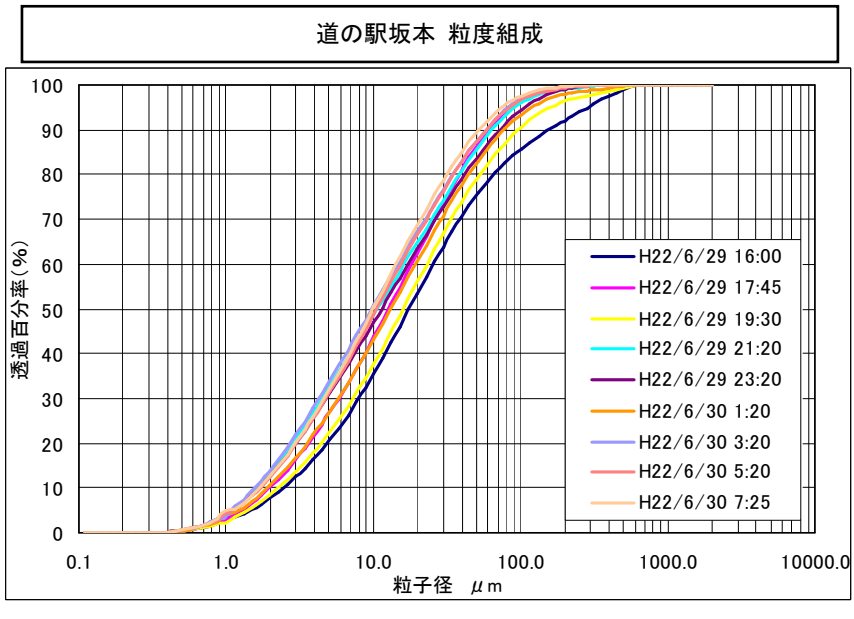
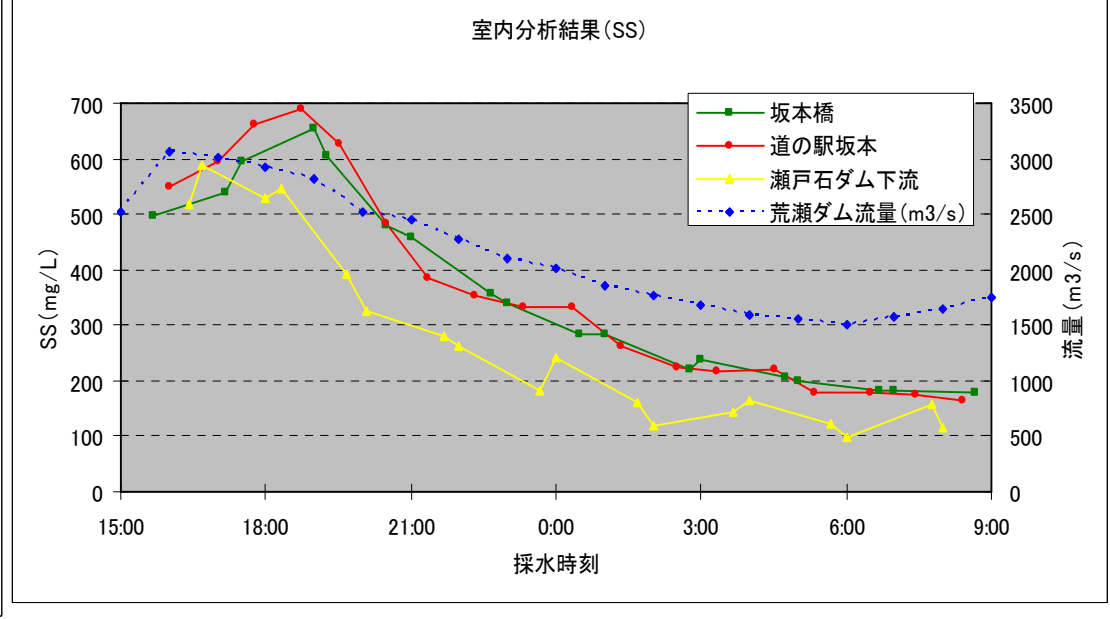
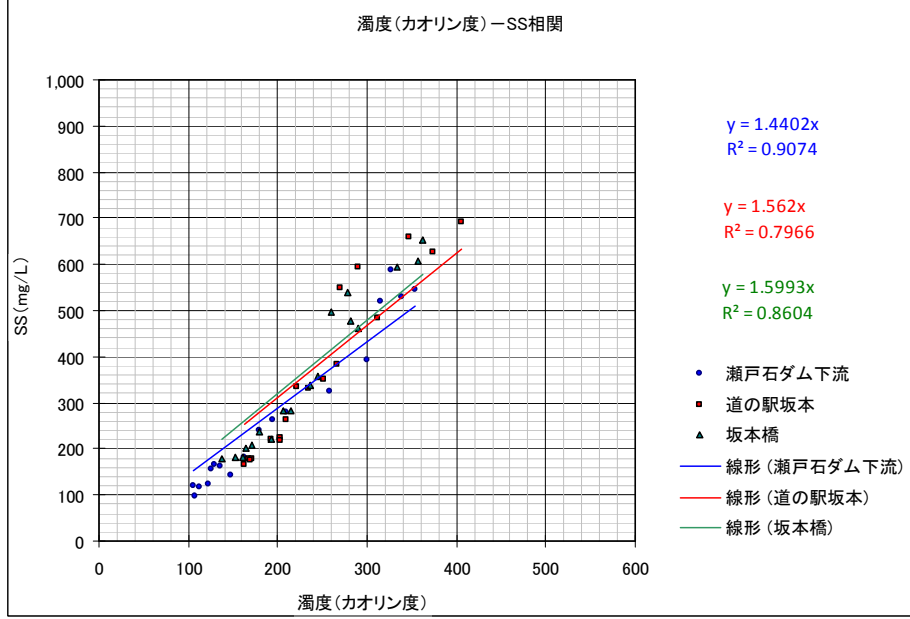
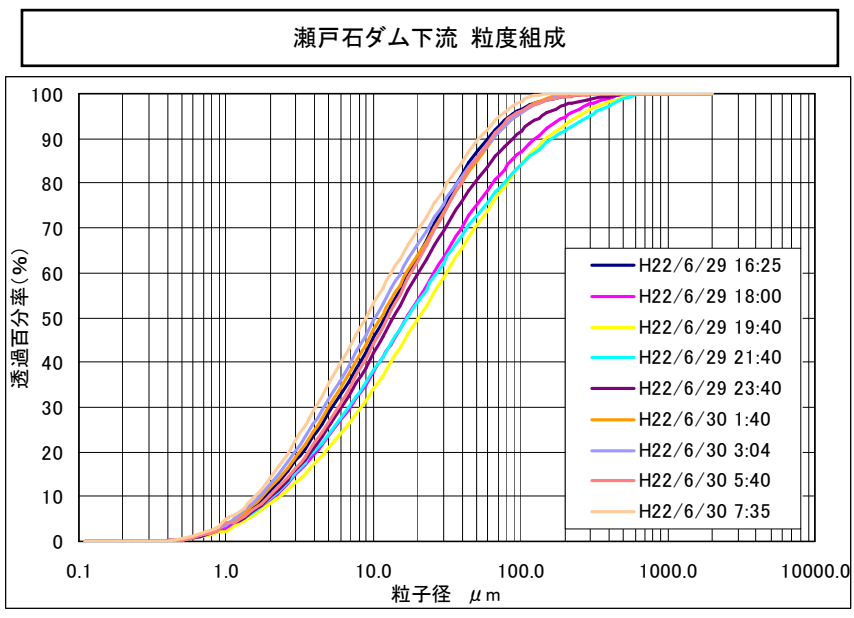
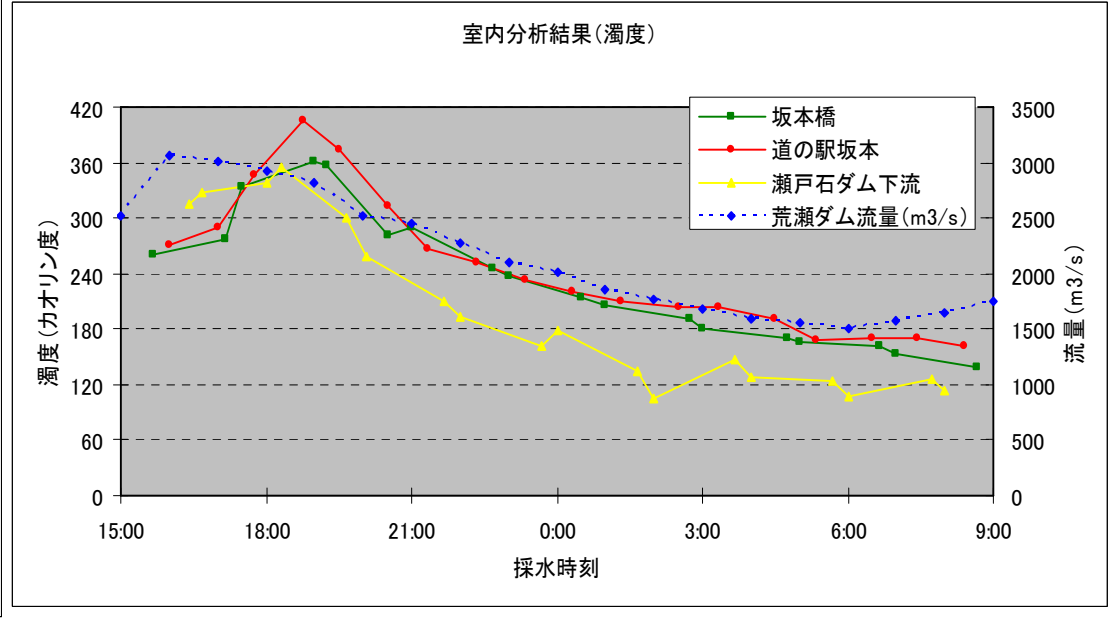
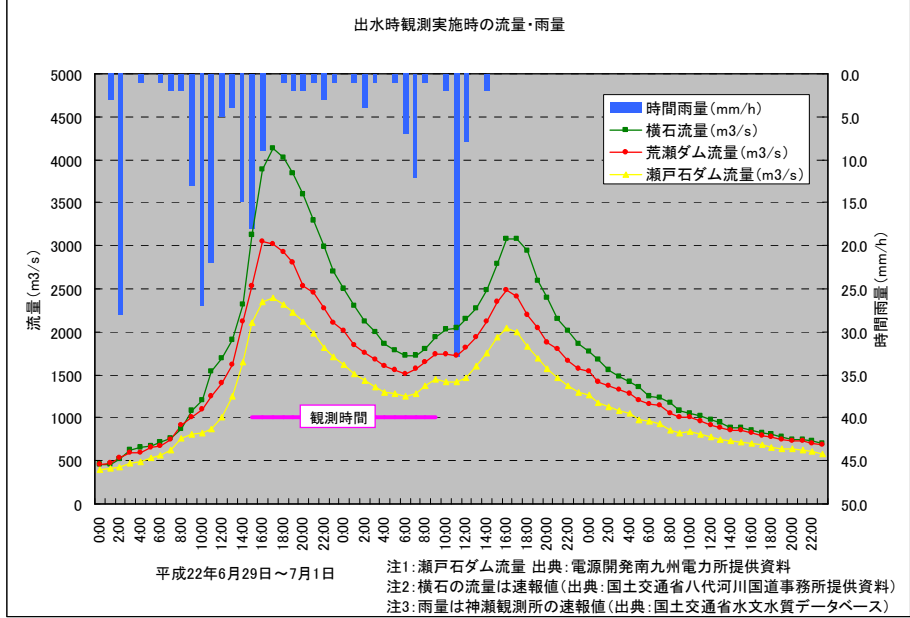
(3) 粒度組成は、約60～70%を5～75μmの粒子が占めた。その他では、約20～30%を0～5μm、10～20%を75～425μmの粒子が占め、425μm以上は数%以下であった。また、時間の経過に伴い、濁度やSSのピークに対して大きな粒径の粒子の割合が増加し、相対的に0～5μm、5～75μmの粒子が減少した。

(4) 室内分析結果をもとに濁度とSSの関係を整理した結果、両者は概ねよい相関関係にあった。一方、SSとDOでは、関係性は乏しかった。

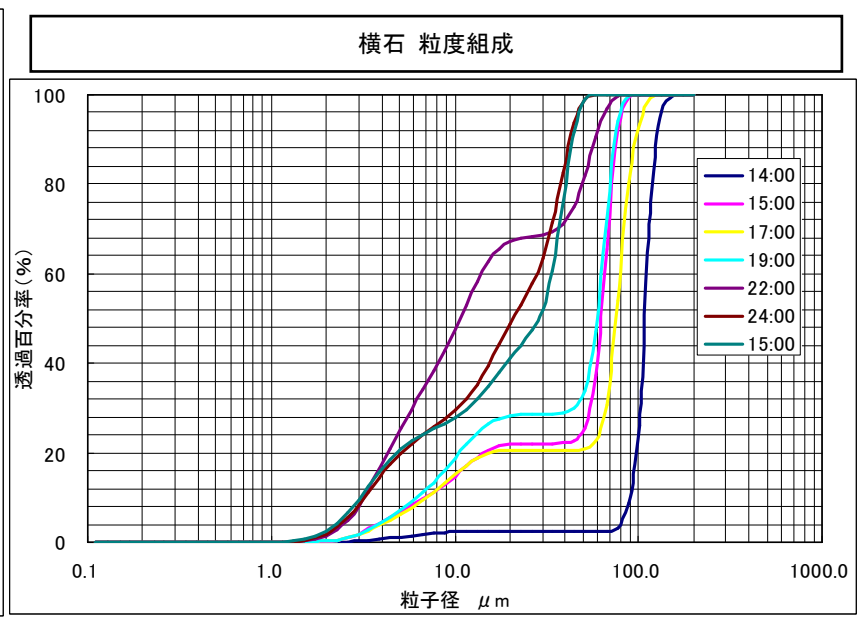
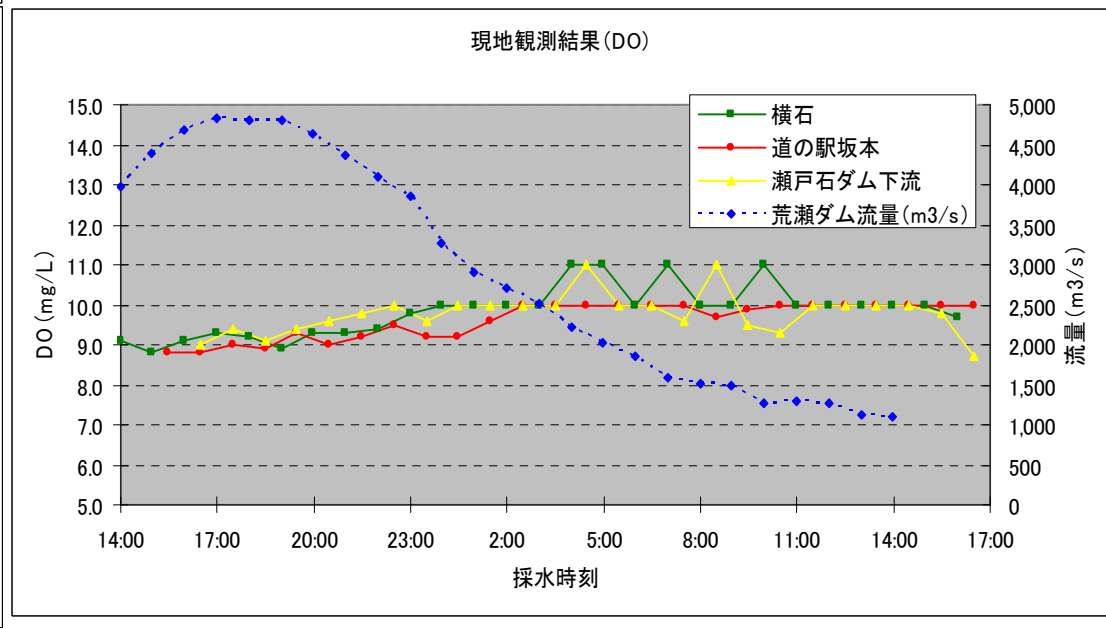
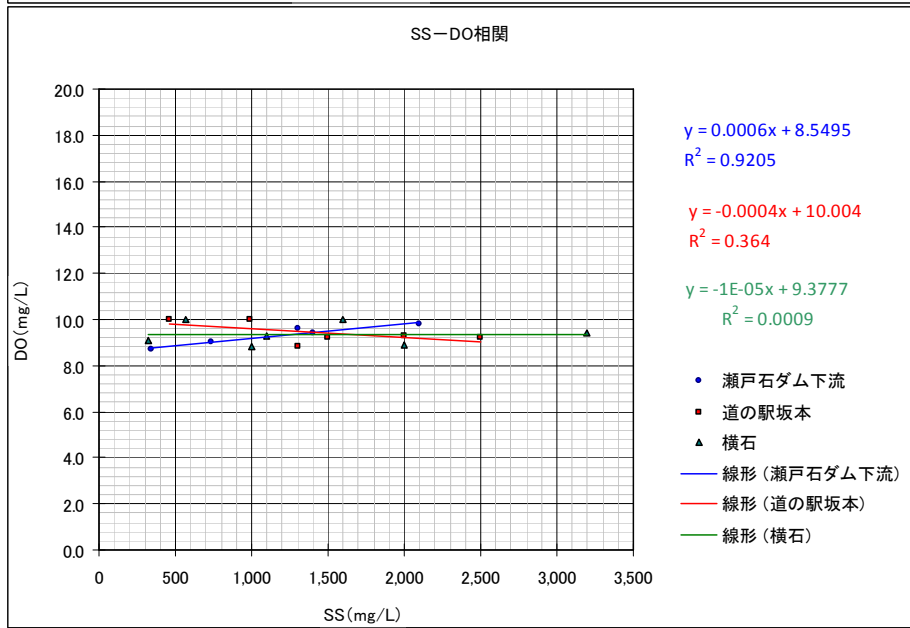
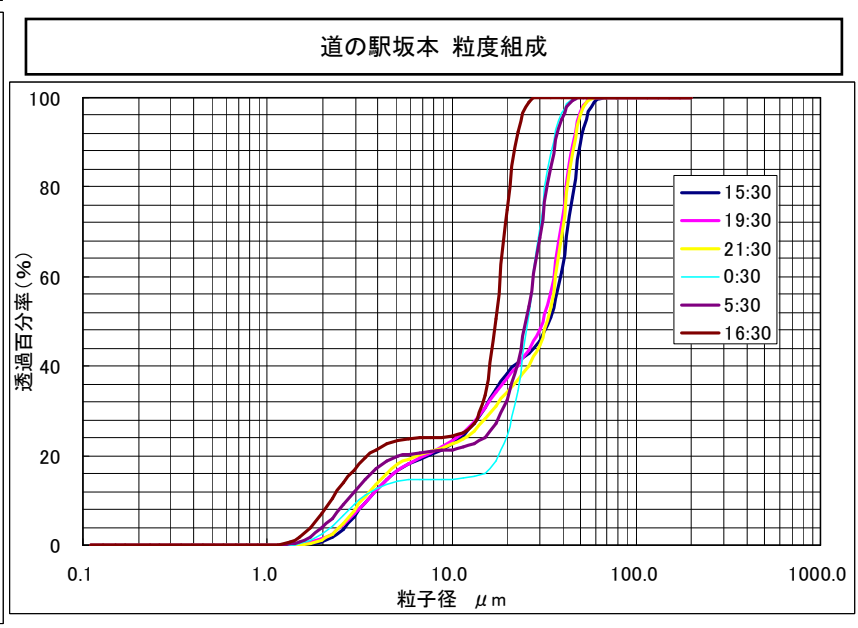
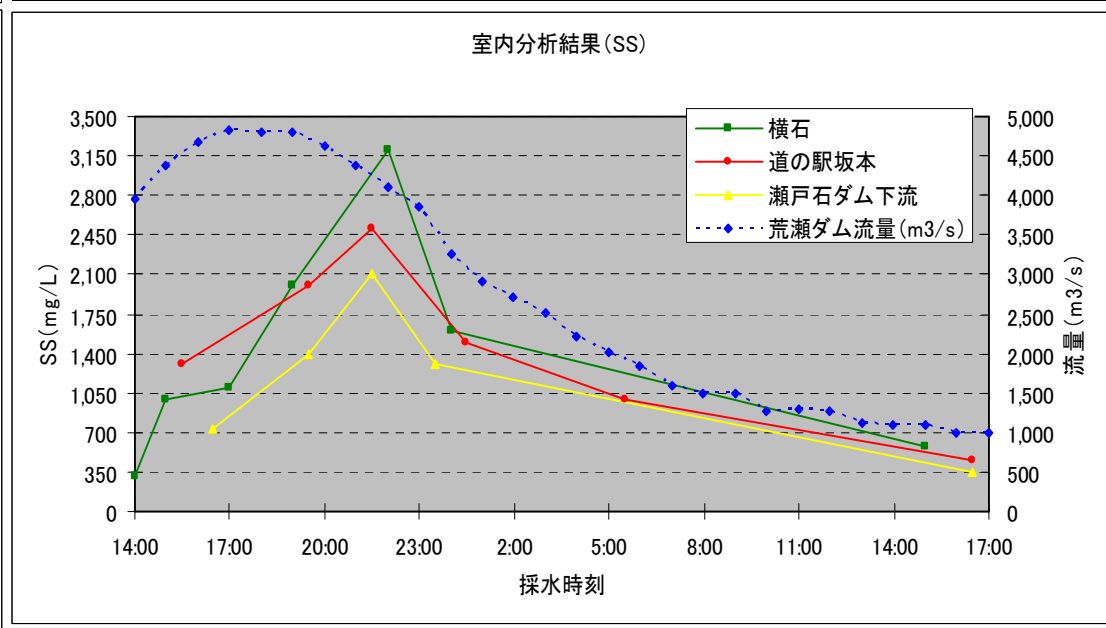
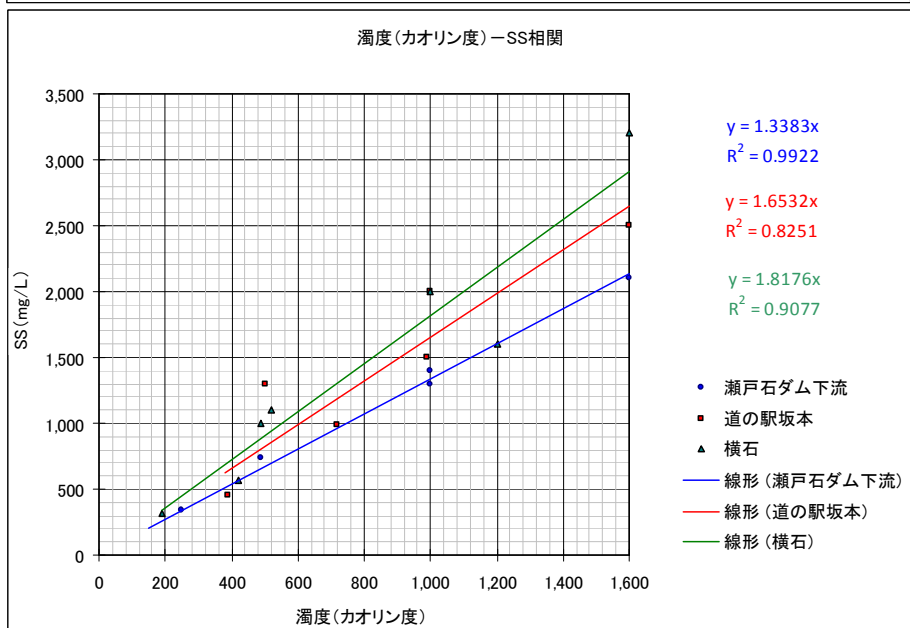
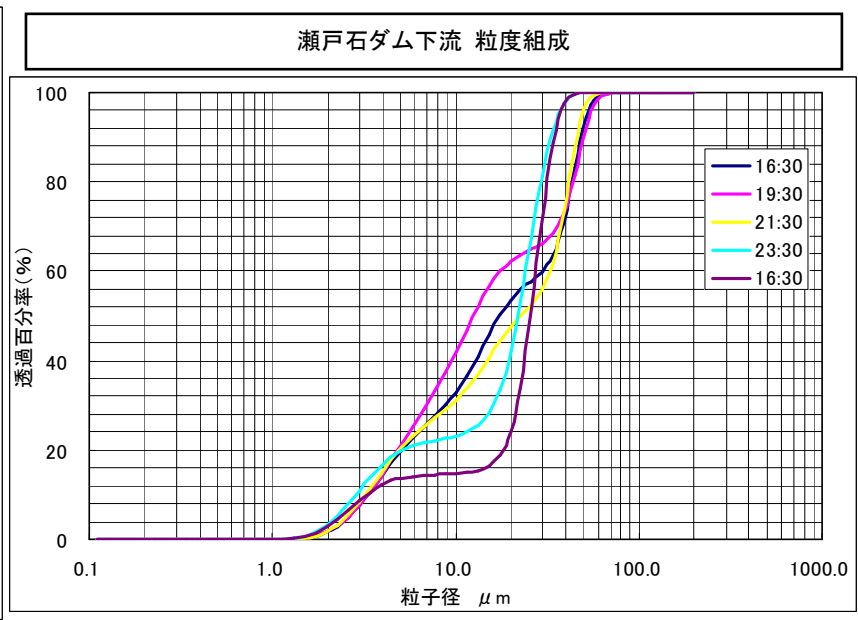
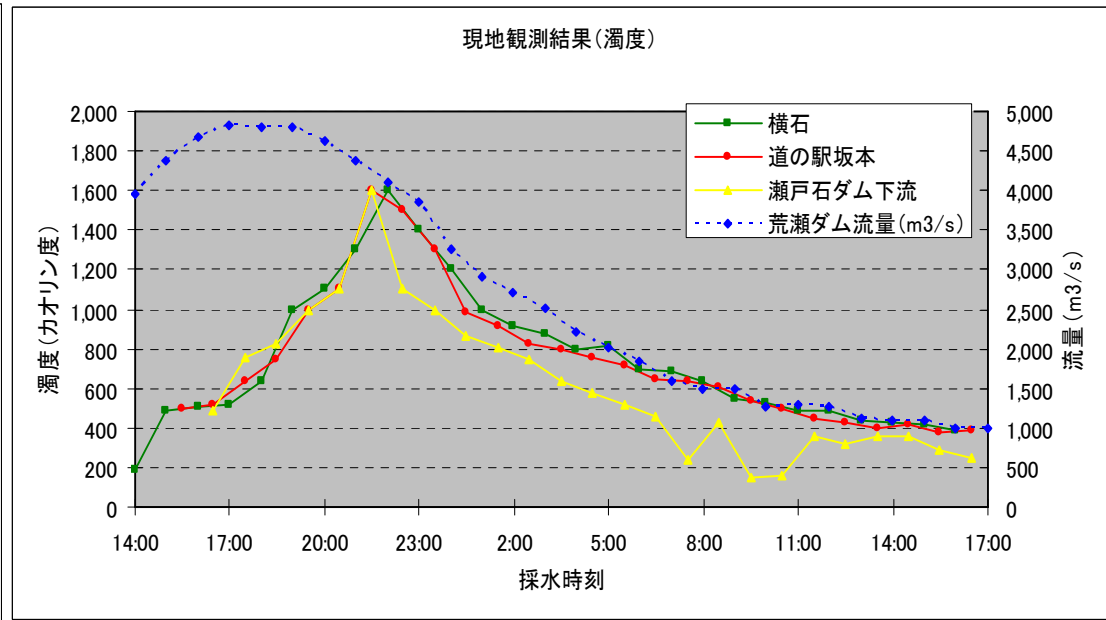
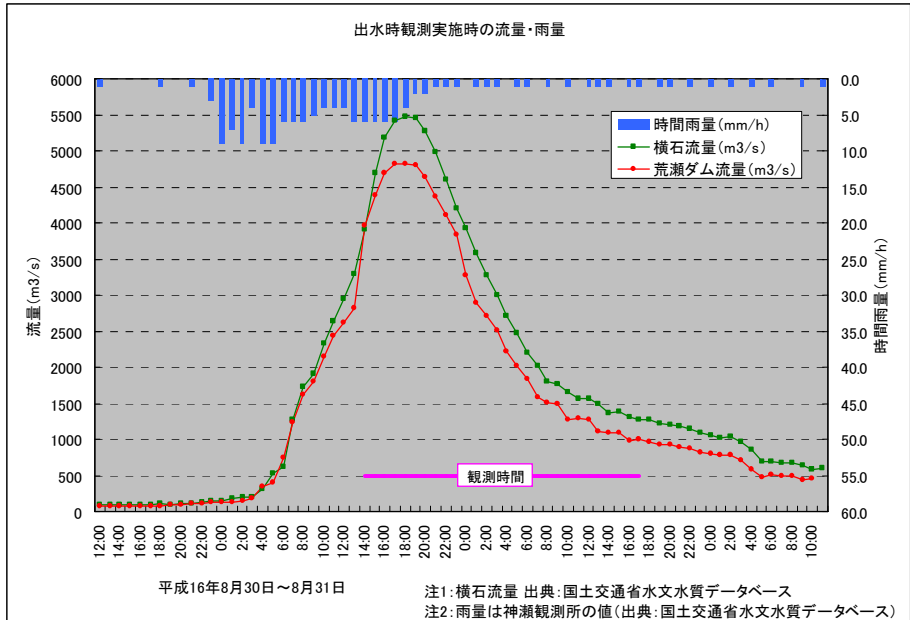


※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(坂本、中津道)を背景図として使用したものである。

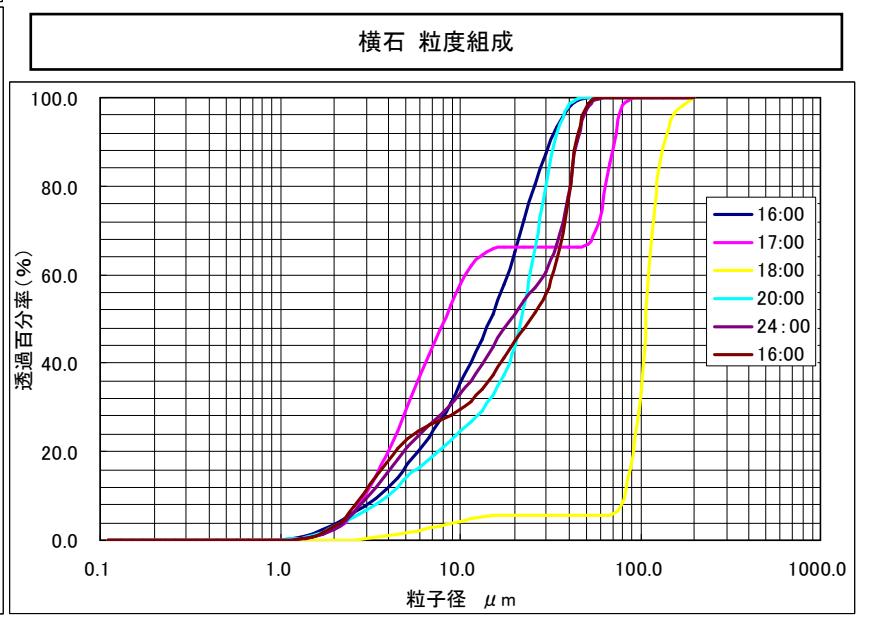
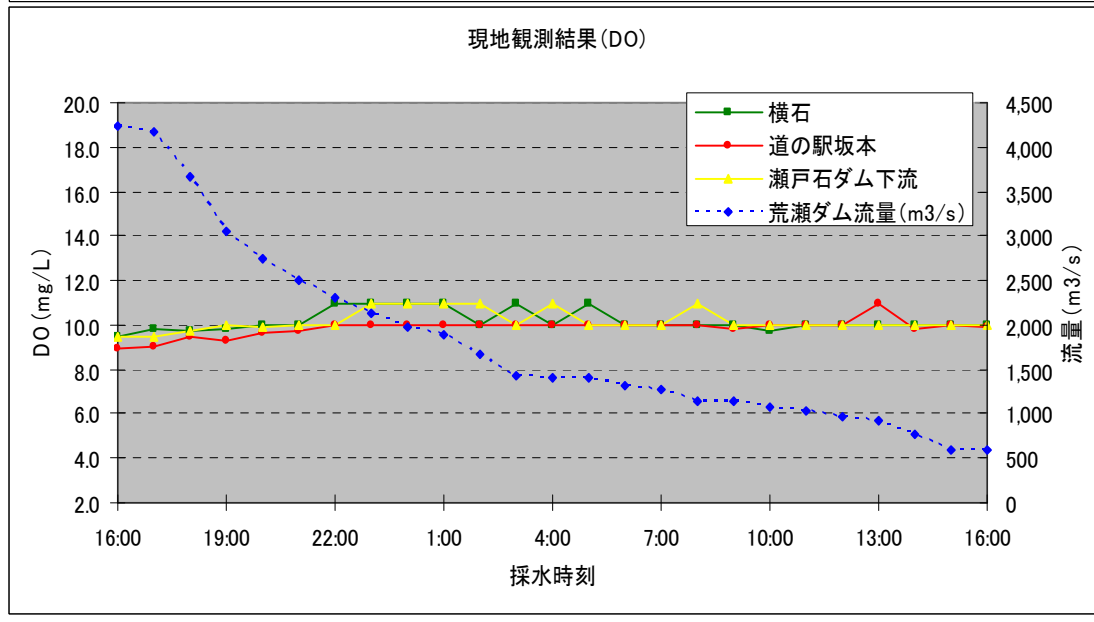
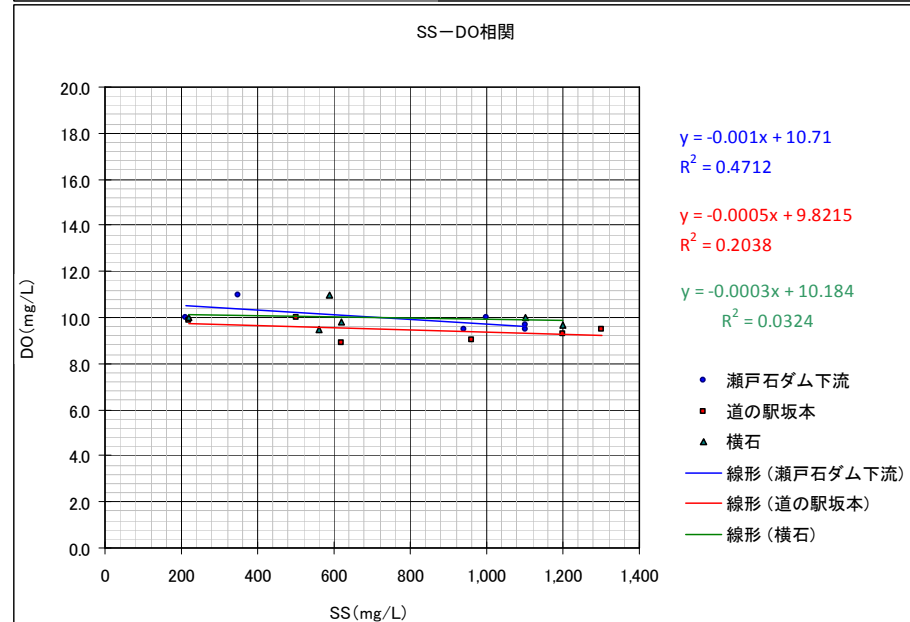
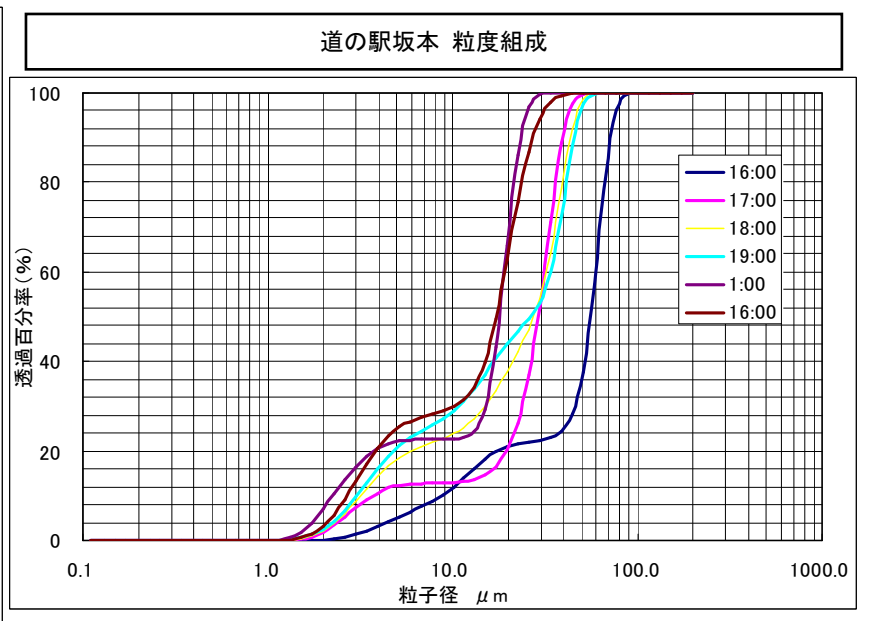
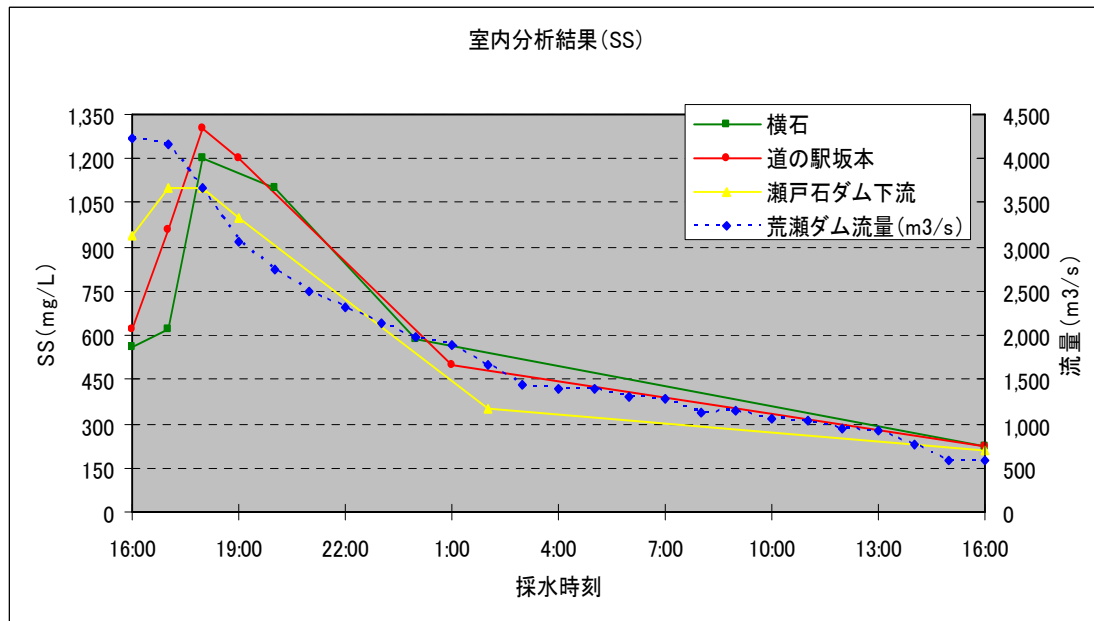
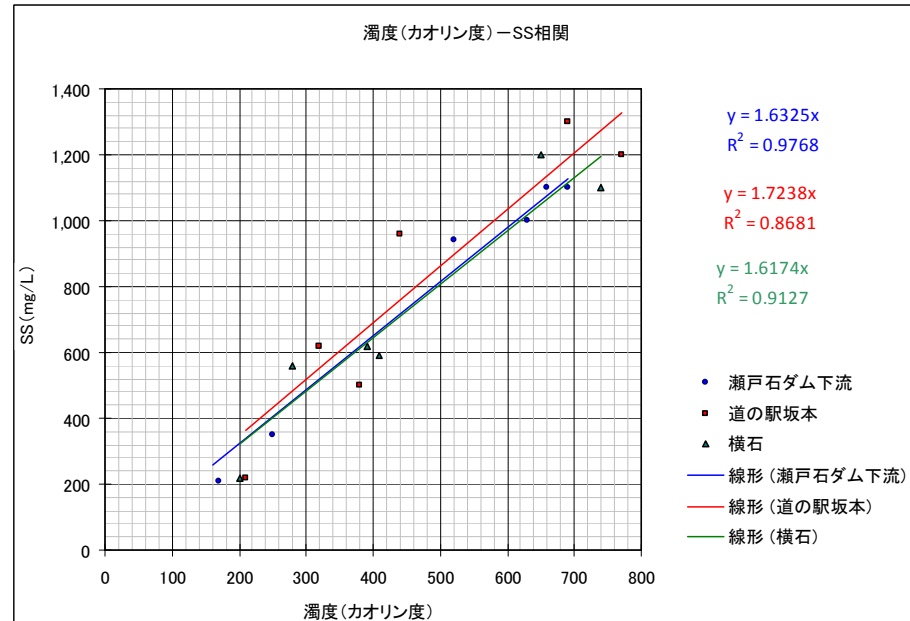
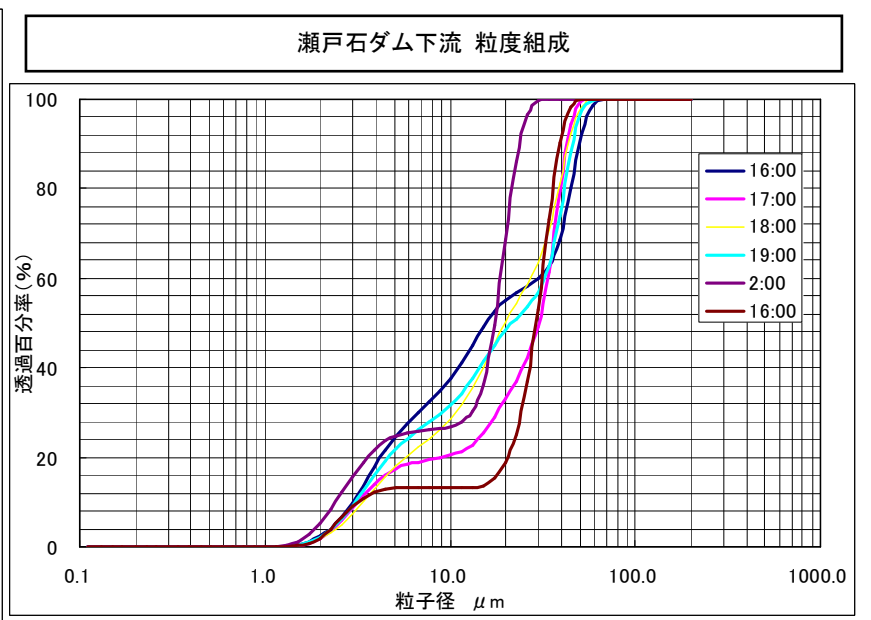
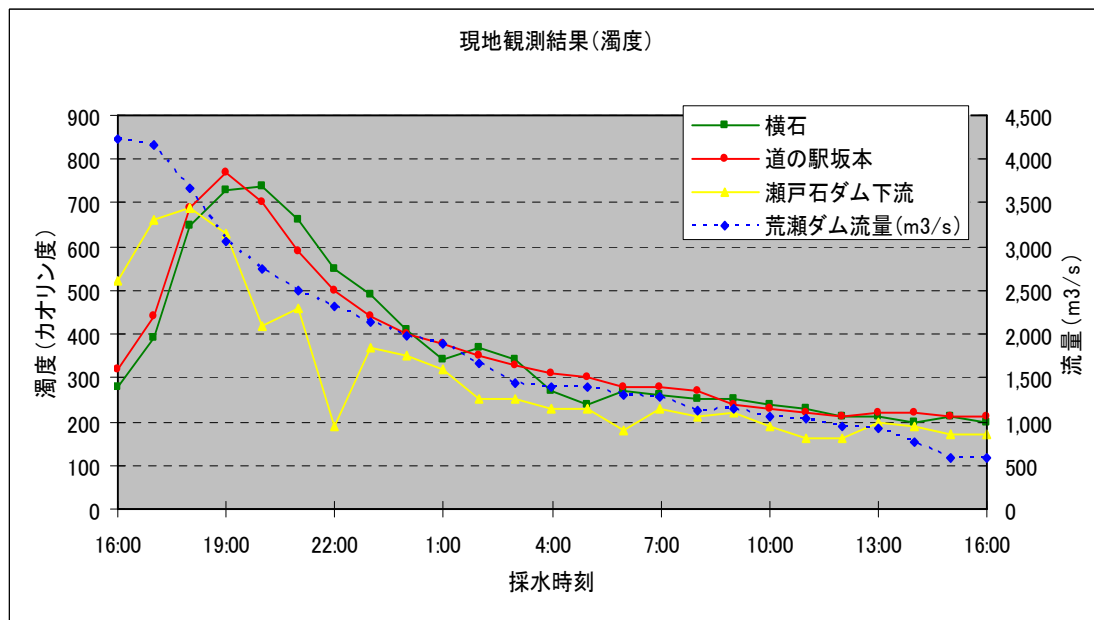
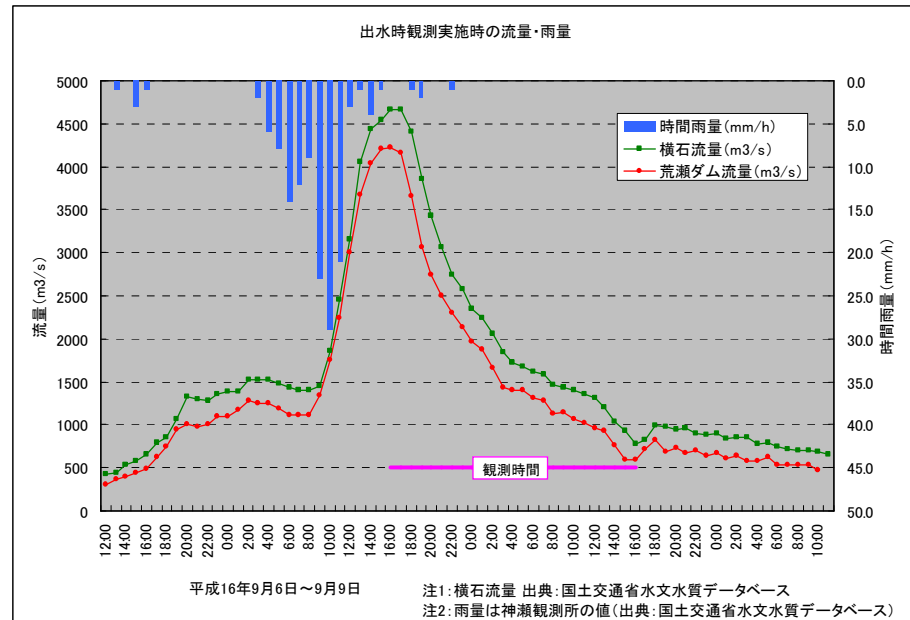
出水時調査結果①【平成22年度】(平成22年6月29日～30日)



出水時調査結果②【平成16年度 第1回目】(平成16年8月30日～31日)

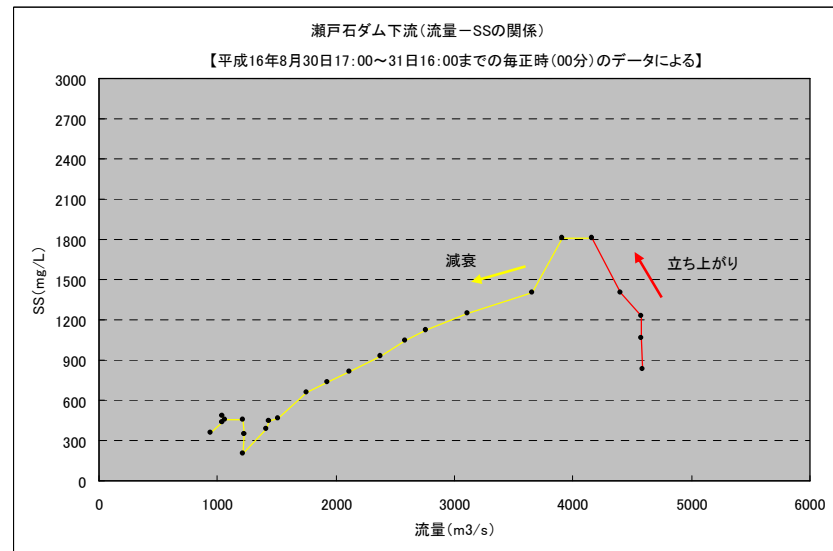


出水時調査結果③【平成16年度 第2回目】(平成16年9月7日～8日)

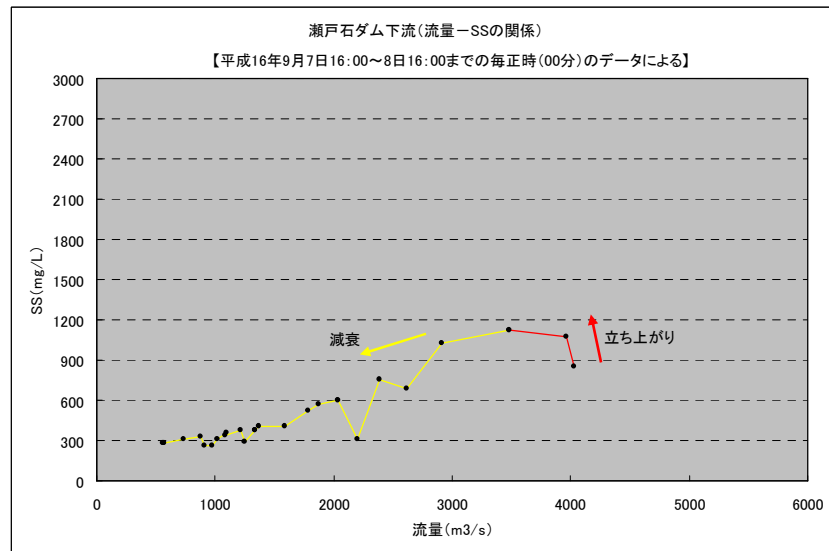


(参考) 出水時調査 (流量－SS の関係)

平成 16 年度 第1回 出水時調査結果 (平成 16 年 8 月 30 日～31 日)



平成 16 年度 第2回 出水時調査結果 (平成 16 年 9 月 7 日～8 日)



平成 22 年度 出水時調査結果 (平成 22 年 6 月 29 日～7 月 1 日)

